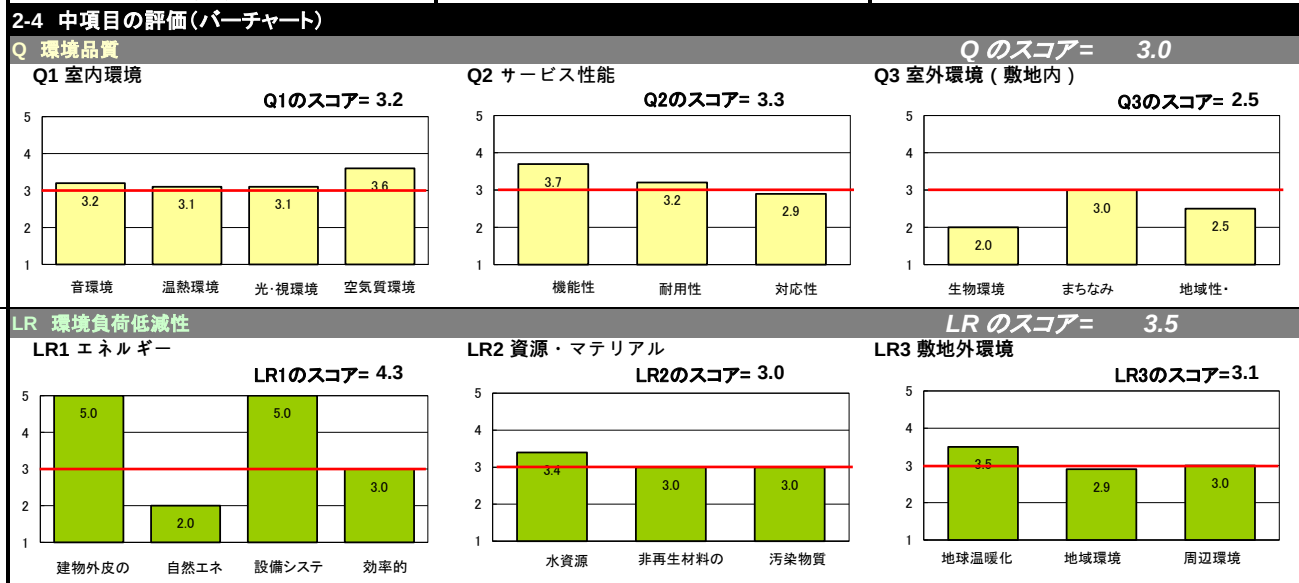
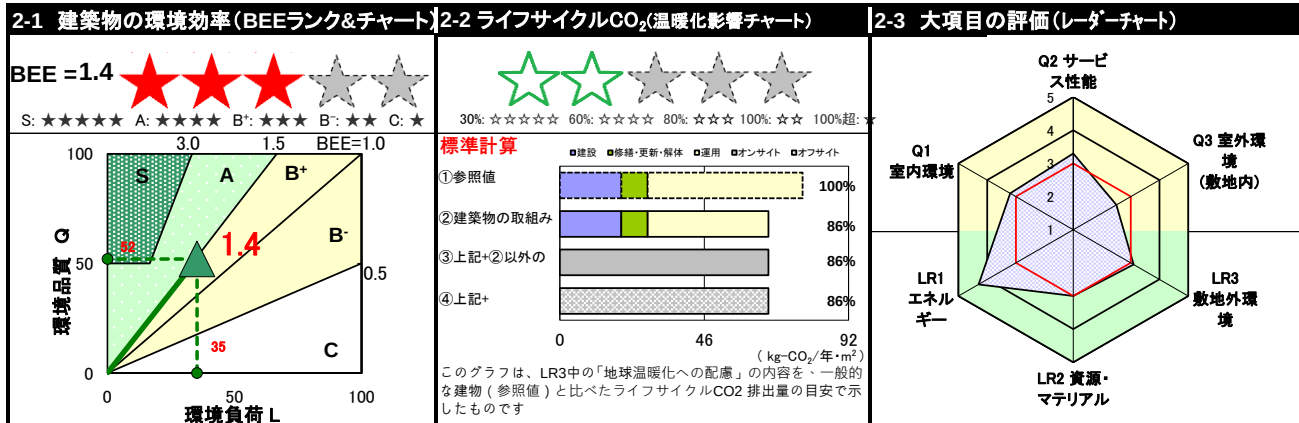


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ソルティア千葉セントラル 新築工事	階数	地上15F
建設地	千葉県千葉市中央区富士見2丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	196 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年3月13日
敷地面積	740 m ²	作成者	濱川
建築面積	367 m ²	確認日	2023年3月13日
延床面積	4,451 m ²	確認者	清水



3 設計上の配慮事項		その他
総合 道路からセットバックし緑地帯を設け、色彩計画や素材を周囲環境に配慮し計画した。住戸内は遮音性の高いT-2サッシを採用し、断熱等性能等級5を取得する等室内環境に配慮した計画とした。		0
Q1 室内環境 断熱等性能等級5としている。F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材料を採用し、耐用性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級5、BEI=069としている。	LR2 資源・マテリアル LGS地下やノンフロンの断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率86%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される